

抗がん剤の副作用に漢方薬を

現在、抗がん剤はかなり進歩してきています。しかし、耐え難い副作用のために抗がん剤の投与を途中で中断せざるを得ない人が多いのです。辛い副作用が出て、それに耐えて抗がん剤治療を続けられる患者さんは、わずかに2割しかいないことが、大規模アンケート調査で明らかになりました。それよりも何よりも、患者さんが楽になることができればありがたいです。



1. 吐き気・嘔吐

1日ばかりの車酔い、二日酔いと違い、四六時中何日も吐き気・嘔吐が続けば苦しいものです。

➔(69)茯苓飲(ぶくりょういん) 1回1包 1日3回 14日分



2. 口腔粘膜炎

以前は口内炎と言われていました。痛む、しみる、食べ物の味がわからない。乾燥する、腫れる、食べにくい、飲みにくい。

➔(14)半夏瀉心湯(はんげしゃしんとう) 1回1包 1日3回 7日分



3. 下痢

抗がん剤の副作用としては古典的です。下痢が長期間続けば、食欲低下、衰弱も心配されます。脱水症も注意です。

➔(14)半夏瀉心湯(はんげしゃしんとう) 1回1包 1日4-6回 7日分



4. 末梢神経痛

手足のしびれ、冷感、ボタンをかけにくい、物がうまくつかめない



➔(18)桂枝加朮附湯(けいしかじゅつぶとう) 1回1包 1日3回 7日分

➔(107)牛車腎気丸(ごしゃじんきがん) 1回1包 1日3回 14日分

➔(108)人参養栄湯(にんじんようえいとう) 1回1包 1日3回 14日分

5. 食欲不振

ほとんどの抗がん剤の副作用にあります。

➔(43)六君子湯(りっくんしとう) 1回1包 1日3回 7日分



6. 味覚障害

抗がん剤治療を受けた人の多くが感じます。

➔(70)香蘇散(こうそさん) 1回1包 1日3回 14日分



7. 倦怠感

がんの患者さんが辛いと感じる症状の第2位が倦怠感でした。

➔(41)補中益気湯(ほちゅうえつきとう) 1回1包 1日3回 7日分



※治療で頑張っている患者さんの副作用が少しでも軽くなり、食事が摂れて元気になってもらえればありがたいです。

最近の外来状況

インフルエンザの流行はほぼ終息しました。スギ花粉による花粉症の相談が増えています。ここ数週間で胃腸カゼが急増中です。ノロ、ロタウイルスであろうと思われます。入園、入学前に食物のアレルギー検査を希望される方がいます。アレルギー管理表を書く機会が増えました。



お知らせ

岐阜市の漢方外来予定日 3月10日(土)、24日(土)
14:00-17:30 場所: 中島小児科(岐阜市鍵屋東町2-1)
※すべて「院外処方」となります。

小児夜間急病センター当番日 3月30日(金)
19:30-22:30(受付) 場所: 岐阜市民病院にて

休診のお知らせ 3月14日(水)
都合により休診します。よろしくお祈りします。